京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年(紀元二千五百七十一年)
定價 一枚金三錢 一ヶ月前金三十錢 三ヶ月前金九十錢 六ヶ月前金一圓八十錢
廣告料 △一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料 普通活字十七字詰一行金五十錢 △特別廣告一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 佐久間一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社
電話六六三番 振替貯金口座東京四五六六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町廿番地

京城精神界の權威

呉越

二十二日の夜本町の美以教會に秋期傳道として石阪氏の說教があるとの事で、近所の老人に誘はれて拜聽に出かけた、丁度折惡しくの雨、八時頃から土砂降りとなつたので聽衆も少なく空席が多かつたのは石阪氏は勿論役員諸氏も遺憾さぞかしと察せられた、然かし無意味なる多數の人の集りよりも眞に神の道を尋ねんと欲する男女の會合の方が寧ろ神の御心に叶ふものであらう。

石阪氏は宗教の二大要素の一たる、神の存在に付て說教を一時間にわたつて試みられた、然り氏のは說教ではない、彼の學者先生が學生に向つて註釋や經濟の學說を說くが如き態度を以て集つた男女の衷心に何物をか止めんと力められた、唯の講演であつた、神の權威を持てるもの『凡ゆる』神の福音を口から承る事は出來なかつた。

然かし吾等は失望すべきでない、殖民地は凡て『創められんとする世界』である、萬物成らんとして未だ悉く成らざる時である。京城の否朝鮮全體の凡ての男女總だ時代の中堅たるべき青年男女に關ひべく何等の權威も未だ是あらぬ過渡期ではないか、物夫れが全き形を有せぬ、世は凡て懷疑然り夫れである。事夫れが未だ明かに語られぬ、人は凡て詭辯に赴く時である、青年は疑ひながら奮闘し惑ひながら勉勵し、並に努力の結晶は新らしき世界を形つくらんとする、石阪氏は說いた、神は理論上有るべき筈と、異の基督教徒は未だ理論としての神を持たぬ、石阪氏はかく云つた無神論は即神の在す事の反證であると、斯の如き詭辯は既に既に、二千年の余の昔しプロタゴラスやゴルギアスの口から希臘の市民は飽きる程聽いて居る、歐米の共産主義は亦以て各帝王の聖德の大なる反證であらうか、大我の存在、それはいゝ、それを說く人もいゝ、が斯樣な幼稚な淺薄な、將又輕浮なる有神論を振まわして此京城の精神界に權威を抱持せんとするは、誤まれるの大なるものである、其難い事『富みたる者の天國に入る』よりも甚るつて居る、氏は美以教會で有數の人物である、然からば多分知らざるに非ず談らなかつたのであろう、氏は人を見て小乘の法を說いたいのであろうが、さすれば吾等青年は氏に侮りて余りに輕視された、殖民地の青年男女は日本內地の田舍に住む人々と同一視せられた、斯の如くんば氏は吾等青年を正しく見得る人である。

余は石阪氏に何等の惡感を有せぬ、否恩こそ受けて居やう、決して怨は持たンでは無いが決して基督教を否定せぬ深く謝せねばならぬ、余はクリスチャンの爲、熱心の余り失禮の辭を弄したのは宗教人は智の絕對に進步せぬ間は必要だと信じて居る、唯此京城の翳れる物質界より超然として新らしき世界の健全なる分子を支配する道德的權威の下らん事を切望して居る、古くさい有神論や靈魂不滅論は願はくば舊世界の遺物として御返ししたい、牧師の人達が今持てる小羊を失はぬ事耳職ぎするならば即足る更に迷へる小羊を探し尋ねる考へならば、今一層の努力と熱誠とを要求せらるべきものであろう。

吾等は今物質的權威の下に平伏して居る、俊腕臺に立てる輪奐は正しく宇島の權威である、是に反するものは尋ねて何所にも求められぬ是と共に否是より勝るへき精神界の權威は何所に求めたらば護られようか。

上海へ旅行中之處歸省
岡田榮

雜錄

全南諸島の漁業

一、沿島　本島にては兵庫縣人山野鶴松木雇人の今武一郎なる者客月下旬より鰆の漁業に從事せり一日の漁獲高一千五百貫以上價格五百圓にて目下神阪地方に運搬販賣しつゝあり

二、汝自島　本島は鯛の漁場にして客月中旬より漁期に入り漁獲物は鹽干鰕に製造し居れるが近來風波荒らく例年に比し漁獲高減少せるも今日迄の製造高六十三後價格三千圓に達せり尚今後天候回復せば豐漁ならんと

三、羅老島　本島は鰕及鯛の漁場なるも未だ漁期に入らず本月上旬より來月上旬に掛け盛漁期に至らば意外の豐漁を見るに至らむ

四、安島　本島は鯛の漁場にして目下出漁船五十餘隻一隻の漁獲高一日二十貫乃至七十貫に達し近來稀有の豐漁なれば漁船漁夫の入込むもの益增加の傾向なりと

新講談豫告

引續き永々御愛讀の榮を賜はりし本紙所載の小說『召使れ初』も愈々本日大團圓を告げ申候に就ては之れに代る讀物錚々と都講談界の巨匠小金井蘆洲の口演に係る俠客

『梁川庄八正國』

の傳を掲載することに致し候同人の豪勇俠氣は眼中王侯貴人なく義に因つては孝子節婦の爲めに氣を吐くこと千丈長從證下の讀物として二なきものと存じ候へは相變らず御愛讀下さる可願上候

新講談豫告

平南の産麻狀況

平

平安南道に於ける産麻の狀況を聞くに植付の種類は概して大麻にし一ヶ年の作付反別約二千七百九十九反步同生産額二萬四千七百十一貫匁なるが同賣却代金二萬七千〇七圓四十錢なりと云ふ

外事一束

△土國　駐剳獨大使は土伊紛擾事件に付き伊國政府に對し仲裁の勞を執るとを言明し
△駐伊獨大使も歸暇歸國中の處俄に歸任せり伊國銀行利率引上らる
△英佛紙は伊國の行動を非難し[illegible]國動搖し佛艦二隻土國出發の準備成ると
△伊國の對土要求はトリポリに於ける伊國の利益常に侵害され且無視せらるゝを以てトリポリを軍事的に占領し然る後問題を確實に解決せんとす
△之に對し土國は能ふ限り讓步して伊國政府の要求を尊重せんと傳へらる
△愛蘭の罷業は全然失敗に歸したり
△米國煙草トラストは三會社に分離せん
△四川亂民十五條に成る獨立宣言書を發表し四川路總局長に最も疑はる

外國新聞[illegible]　北嶋書店

文苑

●歌房

霧遊　霞宿堂主人

○白萩は思出多し根こぎして
みなぎる水の逝にまかせむ

○玉ぞとは思はざりしも今更に
死は遂に死なりけり

○死ぞとおもひすてしは年月の
こゝろづくしも恥かしき哉

○行水を流のまゝに去らしめよ
共に思ひもただゆかしめよ

○このれもひ今は捨たりゆく人の
こゝろまかせに思ひ捨たり

○我心石と冷たり今にして
ねぎごとあらず繰言あらず

召使れ初

墨法師

第百五十九回

『旦那樣御自害、そのれ恨みを受け繼いで、澤野樣御一命申し受けたく、これまで推參仕つたでござります』

れ察は再びきつと云ふ。

『や、れ道さの、御自害と……』

流石の澤野も驚いてたぢ〳〵退る、その隙を得たりと進みて。

『旦那樣一念を飽めさせたれ匕首、いざ受けませられ』

まことに電光石火なりき、まことに獅子奮迅の樣なりき、澤野も拔き伴れて切り結ぶ。

年は老りたれど覺あの尖頭脱調なかりき、れ察は忠義を頭に戴き、主の恨みを刄に籠めて只一突きに突きかゝる、風に散る山吹の花は殺氣を含む劍の上にも優しく、翻り雨の呼ぶ蛙は命を爭ふ裾の下に寂しく鳴く。澤野は助を呼ばんにも、れ察の太刀さき鋭ければばうれの猶豫もなく、高の知れたる婦女と侮りたるには似ず、手術尋常ならされば心の驚き譬へんに物も無かりき。

奥御殿は御酒宴果てゝ、その後には燈火の光り明く、局々の障子には覗き人影映りて、今や夜の支度に掛らんとす。廊下々々の笑ひ聲、座敷々々の話し聲、こゝの木庭に恐しき血の雨降らんとするに氣付くものなし、れ察は思ふさまに敵を疲らせ、時分は可しと思ひ定めて、かい潜りつゝ寄りしか匕首逆手に胸の下をぐつと刺す。

刺されてアッと叫びながら、見苦しくも逃んとするを、れ察は後より追ひ縋りて。

『旦那樣のれ恨み、れ思ひ召さ、れ覺ゆめさせ』

肩胛より脊筋へかけて、ばらりずんと切り下げる、急所の重傷、氣丈とはあれど老婦人、一たまりも無くばたりと倒るゝ。

『澤野殿ちや、れ出合ひなされ〳〵』

覺は傚れてよくも聞こわす、右手に攫り持ちたれど、振り閃かす勢も無し、れ察は横合より進み寄りて、澤野の右手を膝下に組み敷き、左手に頸髮をぐつと取りて。

『よくも〳〵旦那樣に耻かゝせた、よくも〳〵旦那樣を窘め殺した、恨みの一刀受けませられ』

咽喉元を二太刀、乳の下を三太刀、思ふ樣に止めを刺して、悠然と立ち上る、息は擲み裂け亂れて殺氣眉の間に溢るゝ、旦那樣れ恨みを散らす爲めとは云へれど、れ奥第一の出頭たるれ年寄を手に掛けたる罪科遁れず、やがて重きれ處刑を下されん、獄卒の手にかゝるよりは、このれ匕首に胸を刺して旦那樣れ側へ行かん、旦那樣共々參らば劍の山も厭ひはせじ、入喚地獄も恐れはせじ、いで〳〵と、字平と座る。

『れ察ぞの早まらするな　御前樣御內意でござりまする』

若江は座傳ひに出で來る。

『下賤身を以て、主人の恨みを受け繼ぎ立ち所に仇を報ずる健氣妙なり、今よりの二世れ道として中年寄申し付くる、衣服改め御目見得仕れ』

これ奥方の御內意なりき。

れ道の魂は長へにれ察の身に添ひぬ。

れ察忠義の一念はやがて澤野を刺して松平家れ奥に於ける大黒柱たらしめき。

れ察の忠義に愧ぢて、佐十郎は心を改めぬ、澤野一派の女中共は皆息を屏めぬ、日は只、麗に宗貴姫の上を照らして虎の門前に南吹く風は滑かりき。

(終)

廣告

京城太平町一南大門北入東側横

○土地家屋賣買典當貸家管理

△多田不動産信託所

○貨物は便宜御預り候

△多田しちや營業所

多田次平(電話二二一番)

名譽銀牌受領
キリンビール

會員募集廣告

新學期開始に付き(甲組乙組)會員募集す志望者は十月五日迄に願書に履歷書を添へ差出さるべし
一授業時間每日午後七時より九時迄
一學費束脩金一圓月謝金一圓
其他詳細之事は二錢郵券添附せられたし

京城大和町一丁目
東洋協會專門學校京城分校附屬
韓語講習會

●東京府免許産婆
●妊婦産婦親切に取扱可申候
●日本赤十字社病院本科看護科卒業
●東京神田水原産科婦人科病院附屬産婆學校卒業
●東京醫學博士柳産科婦人科病院產婆實地研究
京城太平町二丁目　取次電話一八〇二
産婆　若山ちう

●鍼科マッサージ科
主治　腦脊髓神經系統の諸病胃腸病子宮病脚氣、レウマチスうちみくじき其他
●婦人ちゝもみ療法
注意　婦人乳房一切の生理的按摩法にして能く乳汁の分泌を催進す
神奈川縣指定　横濱盲人學校卒業　京城分教場主任
津門
京城南山町四丁目　本田方電話三四二

醫學士　伊藤應隆
耳鼻咽喉科專門
京城日の出町(日の出橋際)
電話三〇五番

●敏速…確實●
訴訟登記　民團警察　各官衙　代書
其他趣意書、祝文、吊辭、廣告文の代作及添削
貸書類の謄寫は遠近を問はず御通知次第事務員を派遣可致候
京城本町一丁目八十六番戶
民團役所前
伊藤測量製圖代書所

獵銃　獵具　火藥
增戶銃砲店
京城本町六丁目

蒲燒鰻丼
やながわ
大勉強仕候
本町一丁目
天金
電話五九八番

十月號
新刊雜誌著

雜誌名	定價	郵稅
新日本	二六〇	二五
實業界	一八〇	二〇
太陽	三〇〇	三五
朝鮮	二五〇	二五
中央公論	二〇〇	二〇
新公論	二〇〇	二〇
實業界	一一〇	一五
實業之日本	一一〇	一〇
實業倶樂部	一五〇	一五
國民雜誌	一五〇	二〇
成功	一五〇	一五
大國民	一五〇	一〇
精神修養	一五〇	一〇
婦女界	一五〇	一〇
女學世界	二〇〇	二〇
婦人世界	一五〇	二〇
女學生	一五〇	一五
婦人の鑑	一五〇	二〇
文藝倶樂部	二五〇	三〇
小說	三〇〇	三〇
演藝畫報	三〇〇	二〇
婦人畫報	二五〇	二〇
雄辯	一五〇	二〇
美人畫報	三〇〇	二五
冒險世界	一五〇	一〇
大阪パック	一二〇	一〇
東京パック	一三〇	一〇
クラヒツタ	一五〇	一〇
サンデー	一〇〇	一〇
日曜畫報	一〇〇	一〇
文章世界	二〇〇	二五
笑	一五〇	二〇
少女の友	一〇〇	一五
少年の友	一〇〇	一〇
少年	一〇〇	二〇
旅行案內	一〇〇	一五

京城本町二丁目
日韓書房
振替口座一一五

東京電報

▲**伊土戰爭と日本の態度** 日本の伊土兩國に對する中立宣告は去る三十一年四月三十日米西戰爭に對する戰時商船捕獲、禁制品取締と適用す

▲**伊土の作戰と海戰** 伊太利軍はトリポリ、ベンガヂーを占領すべく土耳古軍は伊太利本國を攻擊すべく前進中にあり伊太利軍は墺國々境に集中せり又伊太利艦隊は土耳其水雷艇六隻を攻擊し其一を破壞せり

▲**希土間の小戰** 希臘キサリー地方に於て希臘と土耳古の小戰起れり是れ土耳古軍か希臘の國境を侵害せしに起因せり

▲**君府伊人退去** 土國首府コンスタンチノープルに戒嚴令布かれたるを以て伊國人は悉く退去を命ぜられ大部分は既に引揚げたり

▲**英國の中立宣言** 英國は伊土戰爭に對し中立を聲明したり

▲**代議士の大演習陪觀** 今秋肥筑の野に於て舉行の陸軍大演習陪觀申込の代議士は肥塚副議長以下九州撰出代議士合計四十名あり

▲**新市制の實施** 新市制は一日より施行され自治體の面目を一新せり施行機關たる市參事會は純然たる諮問機關に變じ市參事會員は常設諮問機關として市政の事は擴大となし諮問を受くることゝなれり

▲**稅制整理せず** 政府は明年度に於て稅制整理を爲さゞる事に決せり

▲**土國列强に哀願** 土耳其國は列强に干涉を乞ふ旨最後の哀願を爲せり獨乙皇帝は右に對し平和の爲めには努力すべきも我而巳干涉するも他の列强に對して協力せされは功なしと謂へり

▲**土國內閣更迭** 土耳古國內閣は辭職し元老院議長サイドパシャは新內閣首相にキャメル、パシャは外務大臣に任命せられ陸軍大臣セフケットパシャは留任せり（二日延着）

▲**伊土艦隊武裝** 維也納來電に依れば伊土兩國艦隊は各所屬軍港に於て何れも武裝を了せり

▲**伊國軍の大勝** 伊國艦隊はプレベサ附近に於て又土耳其水雷艇三隻を擊沈しヨット一隻及び土耳其兵百六十七名と多量の彈藥を積載せる汽船を捕獲す

▲**伊軍の占領地** 伊軍はプレベサを占領し土耳其守備隊は退却せるが三ケ大隊の援兵到着を待ち伊軍と交戰すべし

▲**金融界と三大銀行** 金融漸次引締り前途容易に緩和の見込なきより三井第三第百の各銀行は當座貸越日步を最低一錢七厘最高一錢九厘とし二日發表即日實行せるが他の各銀行は未だ公然利上げを發表せざるも事實上二厘方引上げを爲しつゝあり

▲**第二回米作豫想發表** 本年米作第二回豫想は三日發表されたり即ち五千三百十一万千三百三十七石にして第一回豫想より一割三步八厘減前年より八步二厘の增收なり

▲**宮內官最終の檢分** 日野西侍從は侍醫樫田醫學博士數外名の屬員と共に福岡縣下大演習地に於ける最終の檢分を爲すべく往復二週間の豫定を以て二日朝新橋發出張せり

▲**矢矧艦進水式舉行** 三日長崎三菱造船所に於て軍艦矢矧の進水式舉行御名代竹田宮殿下を首め奉り齋藤海相其他官民多數の參列ありたり

雜報

●**海相來鮮の用務** 今回齋藤海軍大臣の鎭海灣視察は將來鎭海灣をして完全なる鎭守府として經營すべきが否かの問題を決定する爲めの審査なりと尙は懸洞の行政管轄問題は總督府と協議中の由なるが海軍省にては地中海マルタ島の例に倣ひ飽迄海軍側の管轄を主張し居れば決定迄には尙は再三の交涉を要すべしと

●**寺內總督着期** 五日午後三時東京出發歸任の事に決定したる寺內總督には八日夜南大門驛着歸任すべし

●**元田總裁來期** 拓殖局總裁元田肇氏は今期議會開會前滿鮮各地を視察の筈なりしも都合により來春三月議會閉會後視察する事に變更したる旨夫々筋に通報ありたり

●**伊土開戰公電** 伊太利國政府は土耳古政府に向つて開戰を宣言したる旨去る一日伊太利大使より林外務大臣に公文を以て通告ありたる旨三日林外務大臣より山縣政務總監に公報ありたり

●**通信機關完備計畫** 通信局にては通信機關の狀況を一新せんが爲め從來單に郵便集配事務のみを取扱ひ來れる舊韓國政府より引繼ぎを受けたる郵遞所の改發に盡しつゝありしが引繼當時即ち去る三十八年七月に於て全道を通じ此の種の機關三百三十五ケ所ありしが地方鮮人等の通信力發達の程度に隨ひ漸次斯制度を廢し之に代ふるに郵便集配の事務は勿論小包、爲替、貯金、恩金、年金の支給其他郵便局所に於て取扱ふ凡ての事務のみならず租稅の收納經費の支拂等歲入出金の受拂事務等總ての方面に於て完備せる郵便局所を新設し現に本年三月迄に前記三百三十五ケ所の內僅かに百八ケ所を除くのみなりしが本年度中に於て全部郵便局所に變更せんとて之れが極力畫策しつゝありしが本月一日迄既に七十三ケ所を開廢したり殘部二十五ケ所は出來得る限り急速開廢を了し年內には全道各部を通じて設備なき箇所なきに至らしむべしと斯くして尙は必要の場合は漸次同局所に於て電信事務をも取扱はしむべき方針なりと云ふ

●**定例長官會議** 三日午前九時半より總督府に於て定例長官會議を開き山縣政務總監以下各部長官警務總長列席政務の打合せを爲し正午散會す

●**支那麻布輸入の激增** 朝鮮にて需要する麻布は朝鮮にて製產するのみにては不足なるより大部分は支那產の輸入を見るが本年に至り非常に激增し昨年は其輸入額約八十萬圓なりしが本年は前半季に於て既に八十萬圓に達したりと云ふ

●**漁業實習成績** 京畿道に於て六月六日より八月二日迄鯛延繩に就き安山南陽江華仁川等の沿海にて鰽鱶鱠等の漁獲を六月十五日より八月一日迄田內鮟鱇網を江華通津金浦仁川等の沿岸にて蝦漁獲に何れも生徒五名其對し實習をなせしが當初は降雨出水其他の原因に由り充分の漁獲を擧げざりしも生徒の技能熟するに從ひ漁獲の增進を示したる故に何れも新式漁具の効果に驚き熱心操業して豫定の實習を了ふるに至れり其の後生徒を解散するに臨み各自の意向を糺したるに何れも歸村の上は實習したる漁業に從事すべく尙は他に有益の漁具漁法あらば進んで其の傳習を受け自ら敎師となりて村民に傳習せむことを期するものあるに至れり尙は又實習に參加せざるも其の操業の情態を視察せむと欲し殊更に船を出して實習船に隨行し來りしもの及實習船が多額の漁獲物を搭載して寄港せると目擊せるもの等の中には實習用の漁具を讓與せられむことを請求するものあり或は實習に參加せざりしを悔ゆるものありき之を要するに今回の實習は創業の際設備不完全にして多數の生徒を收容すること能はざりしも實習の

●**手形交換成績** 九月一日より三十日に至る京城手形交換所に於ける手形交換金額は四百五万二千三百四十九圓九錢にして手形枚數一万四千八百七十四枚にして之を手形種別にすれば

種別	枚數	金額（錢位）
小切手	九七七七	二、六六四、六八二、二一
送金爲替手形	四二七	二〇一、四七〇、三六
約束手形	三二	一六、四八五、三三
仕拂命令	一四一	六三三、三二九、三三
出納命令		
郵便爲替證書	一七四〇	二二八、〇五八、〇三
公債證券及利札	一〇四八	二〇、三三五、〇四
雜證票	三三	一九八、〇九九、〇〇

右を銀行別にすれば左の如し

銀行	枚數	金額
朝鮮銀行	九七五	八五七、二〇七、六六
第一銀行	三三三七	八一〇、〇五一、三三
百三十銀行	四〇五七	五六六、六二五、五三
十八銀行	一九五七	六四五、五三六、四二
漢湖農工銀行	四三五	二一〇、〇六四、八五
朝鮮商業銀行	二六六〇	四五八、一八六、六一
韓一銀行	二五六	一五八、一八六、九一
漢城銀行	二三三	一三六、五三三、七五
京城郵便局	九六五	二一八、〇五八、〇三

ジョ博士の談片　西湖の鯉に學べ

三日の朝記者は將さに歸途に就かんとするジョルダン博士夫妻を見送るべく南大門驛へ行つた、待合室に在りし博士は記者を見るや直ちに其偉軀を椅子より起し丁寧に握手を爲したる後ち左の談話を爲した。博士曰く、

余は今回の滯在が餘りに短かりし爲め余が豫期して居た程には、多くの事物を見ることが出來なかつた、併し幸ひにも短かき滯在中に於て見ることの出來た事物はまづ大體に於て進步發達の傾向を有し居るものと見受けた。

サテ余の滯在中山縣政務總監其他が余を厚遇することに勉められたるは余の妻及余自身の感謝し且つ愉快とするところである併し言少しく露骨に失するやも知れねど、學者としての余にとつてソレにも增して愉快に感じたのは、彼の有名な水原勸業模範場の本田博士に會して其高說を聽き且つ事業を見るの機會を得たのと、齋藤山林局長に會して殖林に關する高說を聽き且つ意見を交換するの機會を有したことゝである。本田博士及び齋藤學士何れも篤學にして時務に通ず、朝鮮開發の大業は掛つて二君の双肩に在り、余は二君の盡力が將來に於て必ずや著しき効果を現はすべきを信じ、二君を有する朝鮮と總督府との爲めに大に賀せんと欲す終りに言はん本田博士が大和の郡山から水原の西湖へ移殖した鯉は非常に良く發育を遂げつゝあるが、余は日本人の朝鮮移住者が西湖の鯉の如く自身を朝鮮の境遇に適應せしめさいすれば大に繁榮することゝ信ずる、思ふに現在に於ては日本人の移住民諸君は彼の西湖の鯉に大に學ぶの要ありと信ずる。

●**製紙移入と事業** 每年日本內地より朝鮮に移出する製紙の價格は約十七八萬圓にして三菱、富士の兩製紙會社其の多くを占め居り富士會社は四五万づゝの移出を爲し居るが其の種類は重もに洋紙等なり尤も同會社は從來朝鮮に於て支店若くは出張所等の設けなく單に仲買店より移出販賣し居るのみなるが支店又は出張所を設けし曉は何分販路も擴張され移出高も增加するにいたるべし支那には天津に支店を設け居るが此の輸出價格一ケ年四五十万圓なり尙朝鮮に於ける製紙事業は甚だ振はず又本邦人にして同事業を經營せるものも耳にせざるが這は企圖者なきに非ず多分材料の點に於て困難を感ずるならん先づ洋紙製造としては重もなる材料たる針葉樹の產出及び水質並に石炭の價格等を調査するを要す又三椏等の栽培は相當良好なるやに聞き傳へ居るが現に角朝鮮に於ける製紙事業は新式の製造法に依り在來の如く鮮人向として製造しなば從來よりも發展すべきは勿論なりと入京中の某製紙會社社員は語れり

●**ジョ博士出發** 來京中のジョルダン博士夫妻は三日朝南大門驛發內地に向ひたるが山縣政務總監代理池邊書記官、渡邊高等法院長及び夫人、市原鮮銀總裁、米國總領事館員ヘリス博士其他官民有志新聞記者等多數の見送りありたり因に博士は釜山に一泊四日夜連絡船にて馬關に向ふべしと

●**直轄道路工事** 本年度新規計畫に係る總督府直轄工事中道路の改修總距離全道を通じて百十七里十八町なるが目下何れも準備工事中なるが本工事の着手は來春早々よりなるべしと

●**民會本町道路擴張可決** 既報の如く京城民會は二日午後三時より民團役所樓上に於て開會さる議案は四十三年度決算報告及び道路擴張並に修築等なるが四十三年度決算報告は中島、曾我、大村、大村（百）、皆川、高橋、古城の七委員に附托することゝなり本町道路擴張は委員の報告通り可決し尙は南山町四丁目の裏通りより南大門に至る道路の改修龍山より江岸傳ひに麻浦にいたる道路の開鑿等も異議なく可決し民長より總督府に請願することゝなりたりといふ因に本町道路擴張費の中三分の二は總督府の補助を仰ぎ三分の一は民團にて負擔する豫定なりと

●**運輸上より見たる漢江** 鳥致院より清州、忠州を過ぎ江原道の一部なる事越を經て引返へし木溪より漢江を下り近日歸店したる內國通運會社支店長菅谷氏の談を聞くに同地方は先月の豪雨の爲二間道路跡形もなく洗れ去り纔に馬背に依て通過したる程にて交通頗る不便なり例へは陰城の如き鳥致院迄十六里の距離ある爲米一升僅かに五錢位に過ぎず又物資も貧弱にして鷄、鷄卵などあるも所在憲兵の食料に供する爲濫りに買らしめず一々承認を受けざるべからざる有樣なり而して漢江は此の如き地方を貫流するを以て極めて重要なる運輸機關をなせども遺憾なるは暗礁淺瀨の多き事にて之が爲め年々舟筏の破壞さるもの百餘に及び加ふるに水流急にして龍山より溯上して木溪に至るに約二十日間を要し引網又は帆に依り流下するには一週間を要す時に十一月末より翌年三月頃迄は江水氷結し通航杜絕す目下漢江の運輸に從事する舟は長さ四五間位にて二十石乃至百石位のもの其數千以上に達すべし貨物は上航には食鹽、石油、金巾、糸、燐寸等を積送り下航には米、大豆を運出し昨今は松薪等多きを占む堤川警察署員の話によれば約五万圓を投ずれば暗礁淺瀨を一掃し平均水深三尺を得可くして水運の利を享くる事頗る大なるべしと併し新しき瀨の出來を保すべからざれば此點は專門家の調査に待たざるべからざるも現に角江原道の開發は一に懸つて漢江の水運に在りと云ふも決して誇張にあらざれば當局に於ても研究中なるべしと信ず云々

●**商品陳列館開始** 農商工部商工課にては永樂町にある審特許局の建物を利用し商品陳列館を設くる事にし過般來輸移入品及朝鮮重要製產品を陳列し二三日中より開館し一般に縱覽を許す筈なるが明年度に於ては更に稍々大規模なる商品陳列館の建築を見るべしと云ふ

●**雜誌朝鮮十月號** 本號には總督府醫院開催の衞生會釜山沖の松島風光及ひ秋の山と水の鮮明なる寫眞口繪あり釋尾旭邦氏の「客に朝鮮の近事を語る」穩健の筆致能く急所に中る追に旭邦子なるかを思はしむ「片々錄」は例により弱氣橫溢兎城生の「佛國殖民地に於ける財政制度の狀態に就て」參考とすべく研究欄には和田觀測所長の「承政院日記に就て」吉永彥太郎氏の「朝鮮の染職」本間如囚の「朝鮮の林野考」を收め訪問錄は各道長官の面影を偲ばしむるものある外旭邦子と朱欒波の對話頗る面白く其他各欄共大に振へり唯文藝欄にも少し奮發を希望す（一冊二十五錢本町日韓書房にあり）

●**ジョ博士夫人に花束寄贈** 山縣政務總監夫人は三日ジョルダン博士夫人の出發に際し花束を寄贈したるに同夫人は非常に滿悅の體なりしと云ふ

●**キラー氏の來京** 米國カリホルンヤ州にて有名なる詩人キラー氏は近々當地に來京すべしと

●**政務總監運動會臨場** 山縣政務總監は三日午後一時より景福宮內に開催の漢城普通學校聯合秋季運動會に臨場の筈なり

●**上田軍司令官歸着** 西鮮の守備隊檢閱中なりし上田軍司令官は三日午後六時半南大門驛着歸任す

●**關屋學務局長出張** 學務局長關屋貞三郎氏は忠清南道及北道學業視察の爲め出張せり

●**センプル女史一行平壤行** 殖民地狀況視察の爲來京中なりし婦人著述家センプル女史一行三名は三日南大門驛發平壤に赴きたるが同地視察の上は更らに支那印度等の各地に向ふべしと云

●**仁川の畜犬課稅** 仁川民團にては本年度より畜犬一頭に付一ケ年一圓の課稅を賦すゝ事となり居たりしに去月廿八日迄鑑札下付の出願をなせし數僅かに八十頭なりしが昨今警察署に於て野犬撲殺の執行を始めし影響か去月廿九日より本月二日までに於て更に百三十頭分の鑑札を下附するに至れり

●**松寺檢事正談訂補** 去三十日揭載松寺檢事正の談に付同檢事正より左の如く訂正ありしに付左に揭ぐ

（一）刑事法中朝鮮人にのみ適用する實體法として刑法大全あれども比附引律の如き非文明極まる條項あり實害に基きて處刑する事頗る酷なるものあれば鮮人特殊の犯罪例へば暴徒に關するもの或は擅墓發堀に關するものゝ如き及び特殊の刑罰例へば笞刑の如きは別に法令を制定し此等を除きたるものは一般我刑法を適用することゝし又手續法も日鮮人各別の法律を適用するは何彼に付き不便なれば之れ亦共通にする事は余輩の希望する所にして近時此等に關する一の成案あるものゝ如く聞くも實施の如何は知る處あらず（二）在監人中病囚の多きは事實なるも這は癩病者入監多きに原因するものゝ由又京城に於ける在監囚徒數は最近の統計によれば二千三百餘なり（三）司法警察官として憲兵がなしたる即決中正式裁判を仰ぎたるもの最近に於て一もなし併しながら裁判外の事項例へば犯罪書類の作成證據蒐集捜索上の注意等は常に警察署員憲兵を問はず啓發に努め居れり

●**鎭海灣分署の新設** 警務總監部にては鎭海灣駐洞分署新設の事に內定し十一月中に開設の運びなるべし

●**羅南の旅團演習** 羅南旅團幹部演習は去る一日より開始されたり

●**聯合會延期の通牒** 京城會議所は東京會議所よりの通報に基き三日各地會議所に聯合會開期變更したる旨通牒を發したり

●**明治大學の校友會** 當地在明治大學校友會にては高橋小川兩幹事の發起にて來る六日午後四時小宮李王職次官の邸にて同大學創立三十年紀念祝賀會を兼ね秋季校友大會を催ふすと

●**仁川尋常小學校へ寄附** 鐵路標識管理所長島貫治氏より仁川尋常小學校へ金三十圓を寄附せり

●**學校組合設立認可** 慶尙北道河陽學校組合設立は豫て認可申請中なりしが二日附を以て右設立を認可されたり

公人私人

▲荻谷敬次（扶桑銀行取締役）　二日浦尾旅館へ

▲岩瀨靜（大邱會頭）　三日巳城館ホテルへ

▲英人イーフエケン（學校敎師）　二日巳城館ホテルへ

▲年田口元學（韓國瓦斯會社社長）　二日釜山行

▲佐藤潤象（同取締役）　二日釜山行

▲京城手形交換高▼

月日	枚數	金高
三十日	七一〇	二三四、二九九、二九

▲治外法權▼

寺內總督の歸任が急切迫して見ると、余輩新聞記者までが何だか忙しい樣な氣がする、サレば總督府の役人達が書類の整理、棚の掃除、ハテはコワレた椅子の修繕に迄繁忙を極めつゝあるのは當然の事だ▲或人曰く、寺內總督今度の歸任は單に片附けの爲だと、サテ片附けとは何を片附けるのか、記者ソレを知らず、知らんと欲する者は直接總督に聞け▲平素アフリカ問題に非常な趣味を有し論議に報道に、熱心に勉めた京日紙がナゼカ今度に限つて伊國宣戰の布告の號外を出さなかつた▲偕不思議な事もあるものかなとソロット尋ねて見ると、其日同社の內部に世の同情に値ひする大事件が起り號外ドコロの話ではなかつたのだ▲東京赤阪區の戶數は五千七百餘戶だが、此中同區內二十ケ年以上の居住者は僅かに百戶に付、六戶シカ無いとの事だ▲赤坂と云へば東宮御所の在る所で、富豪大官等の居住者も尠からぬ區だが、斯く永住者の尠ないとは實に驚くべき話だ▲ソレと同樣な話は、我新報社が一昨年中第一朝鮮紳士錄を編纂した際、營業稅、戶別割を合せて百圓以上も拂つて居た立派な人達で、今度第二紳士錄を編纂するに付き、尋ねて見ると、陰も形も無くなつたものが幾らもある、嗚呼浮世の沈移轉は實にヒドイヒドイ。

●京城監獄の卅分　白面子

拘置監內の出産

强盜、殺人敎唆幇助犯とか云ふ罪名で京城鍾路の拘置監に收監されて居る一人の婦人が居る、何う云ふ理由で女の身に大それた罪を犯すに至つたかは後日に讓つて其女は江原道生れの金姓女と云つて本年正に二十歳、姙娠中であつたが一日の拂曉と云ふに産の氣づいて烈しい陣痛を訴へる、女監のない拘置監中の産褥は看守連の手に依つて取纏め用意されたる通り、直ぐ事上る、即ち疊の上に油紙を敷き其上に脱脂綿が厚く重ねて敷かれる、消毒藥には石炭酸が備へられる、産婦は心配して覗く看守連に對し『大丈夫だから彼方へ避けて居て呉れ』と頼む、恐しい罪を犯したと云つても流石に女だ優しい事を云ふ、性豈に惡ならむや、彼の女は既に十五年の刑を宣告されて之を服せず控訴して居るのだ、彼の女が烈しい陣痛と戰ふ小さくして低く加かも力あるウメキ聲は物陰に避けたる傍觀者――然り同情ある傍觀者の膽を寒からしめた。五分、十分、漸う〳〵に明け行く空には曙の色鮮かに高く切りたるアカリ窓から流れ込む秋の氣は淸い、十五分、二十分、烈しき**陣痛を忍ぶウメキの聲**はハタと**杜絕れた**『高一ツ』とは最初から我れ他の頭腦に往來せる疑問だ、今其聲が杜絕れたので言ひ合はした如に顏の色を變へて立ち上る、刹那、其刹那である**オギヤア！オギヤア！**』勇ましの叫びよ猛く〳〵して而して**平和の韻を帶**べる**勇ましの叫び**よ、一同聲を合せて喜びの聲を放つて笑つた、正に午前五時十分だ、聖天子の一臣子は其の大御惠に依りて穢れたる――迷ひて穢れたる母の胎を藉つて**聖天子の大御代に生れ出でたる**僕は言ひ知れぬ感に打たれて思はず〳〵と涙がこぼれた、惡魔は此の無慘の賤民の上にも及ぶのだ、電話して呼んだ南大門外の**産婆松尾のぶ子**は此の時**駆け着けた**居列んだ看守を捉えて『マア輕くつてお芽出度う』と祝儀を述べる『ハアお陰さまで』と宛然自分の子の生れた如に喜んで御座るのが頗る嬉しい、餅屋は餅屋だ産婦は靜かに蒲團の上に移される産れた子には湯を使はせる『男さんですよ』と聲を掛ける『左樣ですか結構です』と引受ける樣な事を云ふ人もあつた、點眼をする口中の消毒が濟む産婦の消毒も終つてマルマルと肥えた**日本帝國の小臣子**は生母の傍に安々と眠つて居る、總ての汚れ物は太平町の何とやらと云ふ人が無料同樣に片付ける、産婆さんも無論義務で働いたのだ相だ、署長も看守も深く其好意を謝して居た、僕は又署長や看守やの御親切を陰ながら多謝する嗚呼仁哉。

●喜劇「犬の探偵」

▽良人思ひの妻君の機轉

君、君たれども臣臣たらず、妻君の心良人知らずで家を出るまでは確に奥さんの心持になつて主人の行先を突き止める心算で出るのだが出るとツイ忘れて終つて『今度こそは』で**運動費を六十何圓と使ひ棄て**、夫れでも**不明**ぬと云ふ始末にてる子さん癇癪玉を破裂させて『一切れ前さん方には賴みません、幾何廣くつても高が京城だ、昔の忠臣孝子は顏も知らない親の仇をさへ廣い日本中から探し出したと云ふではないか夫れに較べれば此方のはヤサシイものだ一心に成つて探して探せぬことがあるものか』と、一心不亂と云ふ奴で毎朝九時頃から愛犬のペスを伴れて初音町から花園町大和町と遠方から先きに尋ね回つた日數も恰度二週間、其二週間目の十二時過ぎ探し當らぬに落膽して重い足を引き摺り乍ら歸り蒐つたのが櫻町一丁目浦尾旅館の所でフトペスが姿を匿した何うした事かとおてるさん探し回つた結果**路次の奥の裏家**に**ペスが尾を掉つて居る**、ハテナと考へて見ると思ひ當る事があると云ふのは伊三郎君が外出すると大抵はペスが尾いて行つた『ヒヨツとすると』と思へば呼吸もハヅむ、跫音をぬすんで戸口に立ち寄つて耳を澄せばモウ〳〵舌ツたるい仇聲らしい痴話と云ふのか口說と云ふのか聞いて居られない如な男女の話聲が聞ゆる而して夫れが僕に聞き違へる筈のない永年伴れ添ふ可愛〳〵の殿御の聲だ、おてるさんたる者本氣で居られる筈はない全身の血は皆な頭に上つて耳はガン〳〵手足はワナ〳〵何と云ふ譯もなく涙はホロリホロリ流れる『己れ性惡女奴他の殿御を寢取りやあがつて』と戸を蹴放して躍り込まう……と一時は思ひ詰めたが考へて見ると左樣異似もされず其場は胸を撫つて歸り改めて伊三郎君に談判を持ち込んで京子を內地へ歸したのが昨年の十二月上旬の事であつた然れば伊三郎君自家に斗り寢る筈であるべきに事實は然らず依然として他所に寢る事が多いのでおてるさん此奴怪しい哩と妬くんぢやないが思はれたので又候探偵ペスを伴れて夜な夜な散歩に出蒐け去月中旬**旭町三丁目**に於て**內地へ歸つた筈の京子**をペスが嗅ぎ出したので妬いて申すのでは御座いませんを繰返してツイ先日南大門驛から汽車に乘せて送り歸した其列車には今村君が京子が肩を列べで『妾しやペスの畜生が憎いよ彼れ程可愛がつたのにサ』と京子の居る所で『ウム、異實だ、今度おてるのない所でステッキの折れる程揍つて遣る、不埒な畜生、フテエ畜生だ』と、今村君は憤慨の極に達してる、『妾の分もよ、忘れないでね』イヤペスこそ好い災難と申すべし（終）

●爲替に優る集金郵便

▽一日から實施された

▲**現金受取** 遞信省令を以て發布された集金郵便は十月一日より實施されることゝなつた集金郵便には受領證と有價證券との種類があつて受領證に依るものは從來の現金集金郵便と略同一で假に甲の京城在住者が乙の大坂在住者より金十圓を受取るとすれば甲は京城市內の郵便局へ行つてそれを委托すると郵便局はこれを大阪局に通じ大坂局は更に支拂ふ可き對手方に至りて金十圓を受取り之れを京城局に返送して來る京城局は更に之を受取人に通告し甲は局へ行つて之を受取り斯くして委托の手續きを了るのである。

▲**有價證券** の部は株券、公債、利札其爲替等の證券を右と同樣の手續きに依りて郵便局の手より授受するのであるが證券の授受委托を受くるに至つたのは今回が嚆矢であるとして之れが取扱ひ範圍は內地、朝鮮、臺灣、樺太は勿論關東州方面まで及んでゐる集金郵便は爲替などに比すれば手數を省略し料金が輕くて濟む點に於ては優つて居るが期日の點に至つては遲速何れとも保し難い、と云ふのは受取るべき先方の對手が不在の場合は郵便局から再五回配人を遣はさねばならぬ斯かる場合は自然遲れ勝である。

▲**手數料** は爲替ならば金百圓に付爲替料四十二錢郵便料三錢（四ケ毎に）書留料七錢合計五十二錢を要するも集金郵便に於ては同く金百圓に付送達料十錢郵便料三錢委托料二錢合計十五錢で事が足りるのであるそれで取扱局は全地一二三等各郵便局に於て普通郵便事務取扱ひ時間內は受付けるが受取る可き局は該配三等局以上に限るのである、また集金委託者は所在郵便局に行けば容易に委托が出來るが其際局より渡された受領證は現金を受領するまで紛失汚損してならぬことを忘れてはならぬ。

●鐵工木工を威す

原籍廣島縣深安郡野上村二百九十四番地當時龍山川端町北陸館止宿森原治郎（三九）は先年渡鮮し更に淸國に渡り居りしが四十二年十月大連瓦斯會社同盟罷工に關し二ケ年間退淸を命ぜられ夫れより鴨緑江鐵道工事に從事し更に本年八月中龍山鐵道局鐵工部へ出動の處目下試驗中にて日給も未だ極まらず小遣錢にも窮する處より二十九日木工部に通勤する龍山清水町三十五番地市原經任（三三）方に至り金五圓を借受けんとして市原に斷られたるに憤怒し有合せの算盤を以て市原を威迫したるにより此程告訴せられ龍山警察署にて拘留二十日に處せらる

日本官製煙草大賣出
景品一千圓
敷島 大和 芙蓉 朝日
九月十九日より十月三十日迄

●賣春婦拘留さる

鹿兒島縣日置郡永吉村番地不詳當時新龍山神明町十二番地飲食店豊田慶次郎同居愛媛縣喜多郡久米村番地不詳一宮ちとせ（二六）は先年渡鮮し去る男に前記豊田方に預けられたる儘引續き豊田方に手傳ひ居りしが病氣などにて豊田方に借錢あり依て豊田の內緣の妻黒川うめ（三八）はちとせを使嗾し共謀して淫賣をなさしめ居りしが一日夜京城明治町番戸不詳西洋洗濯業大西松太郎方傭人藤原茂七（三〇）を黒川の媒介にて金五十錢の約定にて賣淫中龍山警察署の巡査に踏み込まれ拘引せられうめ、ちとせは各拘留七日に處せらる

●中央大學講義錄

年々其稿を新にし其餘贅多の弊害を除去して二十年一日の如く最も忠實に法政經濟學界に貢悴せるものは中央大學講義錄にして今や其實質の優良なることは漸く一般の認むる所となり非常の信用を博し新學年の申込者も例により頗る多き由

●西田賣作の豫審決定

已報の如く仁川宮町西田賣作及福田久藏の兩人は橫領詐欺取財の廉を以て其筋に拘引せられ取調中の處二日豫審決定し福田は免訴西田は有罪と決定したり因に兩人に對する私書僞造及詐欺取財の公判は近々開廷せらるべしと云ふ

●仁川の白米泥棒

昨今米價の騰貴につれ下級者の生活困難を來せしよりコソ泥棒の被害少なからず去三十日午前四時頃仁川濱町二丁目の十四淺原寅太郎方にて押入の內に有りし米櫃より白米八升を窃取されたり

●手提金庫を盗む

京畿道富平郡生れ林萬福（二二）は未だ乳臭き少年なるが大膽にも二日正午頃南大門通り二丁目八番戸申泰潤方不在に乘じ忍入り金二圓餘入り手提金庫を窃取し逃走せんとする處を南部署巡査に捕れしが末恐ろしき惡少年かな

●井戸の中で怪我

二日南大門通り三丁目裏通りを清潔法施行の際限部桑次郎方雇人李申滿（十五）は井戸浚をする爲め井中に入り働き居る內子供が過つて水桶を落したる爲め頭部を負傷せりと

●傳馬船の衝突

仁川稅關所有第一宮丸及仁川警察署所有傳馬船は二日午後二時頃仁川稅關第一棧橋附近に於て誤つて衝突し宮丸には損傷なかりしが傳馬船は艪を挫かれたり

●落し主はないか

西小門通り下宿屋本田矢一郎は二日午後十時頃太平町一丁目に於て金三圓餘入り財布を拾得南部署に屆出でたに付き心當りの者は同署に申出す可しと

●豆腐屋暴れる

京龍豆腐商曾子津布久滑吉（三六）金崎菜一（二八）の二名は二日午後六時頃南部小公洞酒幕金寅根方にて飮酒し暴行を働き南部署に突き出され說諭放免

●藝妓の奮闘振り　燒松

音の高い聲が芳醇な酒の香に和して匂ふ圓疊半裡に明るい電燈を見上げて『此の電燈も隨分だワ野法圖もなくテカ〳〵してさ』なんて譯の判らぬ事を云つてフントウした其功績が妾に現はれた處を見ると**中券**驚く勿れの花月の勝利が引き續いての大勝利、次が御翠の繁華で井門の錦香は卵の殼を引き摺り〳〵夫れでも豪いワよ三番と續いた次が又々驚く勿れの御翠の釜山の右女助先月十六日以來絶ゑ間もなく遲べた線香の御利益で四番目に押し登つた五番が淸華の丸子なり六番より三十番迄を上ぐれば即ち

政子（井）芹龍（淸）光奴、茶羅丸（松）勝次（花）政菊（御）ぼたん、政彌、君奴金彌、花、君子 御 若一、小政（花）れん 茶 御 小高（花）浦子（松）れ染（御）れ筆 福助、花 玉千代（淸）秀奴（花）靜江（御）輝子（御）金五郎（淸）一奴、鹿の子、桃太郎（花）

とこそは知られたるが**京城券**の方へ移つて見ると此れは又如何なこと例の朝顏藝妓の萬屋の吉彌姐さんが第一番の賣り頭で十五番までを擧げると濱助、小蝶（花家）菊枝（菊家）審枝（萬家）、桑次（玉家）十郎（花）仇吉、花蝶（玉）福吉（花）小仙（玉）雛子（萬）若千代（淸水）千代吉 券番、福助（淸水）で云ふ順なり賣つたる哉諸君

堅牢無比 鶴屋式木履

●仁川藝妓腕比べ

九月中のセイキを記せば久子、福太郎、玉勇、生駒、小力、梅子、梅子、九八、桃太郎、八重山、初子、政尾、富久の助、榮太郎、榮丸、一君、千代子、米蝶、榮吉、君之助、奴、小久、朝日、三桝、合邦、〆太、桝菊、知久子小吉、一子、漣、三笠、春日、松子、松島ふさ子、勇、鈴谷、よし子、お京、政菊、常子、小婆なり

●演藝だより

▲壽座 後藤良介一座四日の代狂言は三日同樣紅葉山人作『金色夜叉』にして特に後藤の間貫一島田北子のお宮は一品の稱あることなれば此れこそ觀物なるべし

▲歌舞伎座 映畫の嶄新を以て好評を博せるエムパテーの活動寫眞

▲浪花館 吉川今勝一行の浪花節にて四日の番組左の如し
曾我の情網（勝丸）義士傳（孤舟）鹿安太平記（樂圓）水戸仁政錄（光廣）津田三藏（紀尾井）國境烈彈今勝

●天氣豫報

（自三日午後六時 至四日午後六時）
北西の風晴

廣告

京城居留民團告示第四十一號
居留民團立靑坡病院ハ九月三十日限り當分ノ間閉鎖ス
明治四十四年十月二日
京城居留民團民長 古城菅堂

最上醬油
釀造元 仁川萬石町 高杉醬油釀造所 電話七六五番

火災盜難保險附
高崎製金庫

特別大割引
大放賣
京城南大門通り三丁目
清韓洋行
電話四九四番
振替口座京城四九四番

冷御賣出
例年の通り十月一日より
大樽壹挺に付金壹圓五拾錢
値上仕候間不相變御愛顧の程伏して奉願上候
二羽鶴 澤龜 光武 發賣元
宅合名會社仁川支店

米豆 定期 現物 仲買
仁川米豆取引所仲買人 ヤ橋本彌三郎 電話一〇七番
京城 明町 ヤ橋本出張所 電話一六八二番

入院隨意夜間九時まで診療
京城支那領事館前通り
佐藤皮膚病花柳病醫院
院長 前獨國醫科大學皮膚病梅毒泌尿生殖器科教室醫員 佐藤伊藏
電話一一七三番

開店廣告
今般左記に開店仕候に付御披露之爲十月一日より向一ケ月間大割引賣出致候間御愛顧御引立の程奉願上候 敬具
和洋建築金物
並に土工用具
大工道具打刄物
諸金物一式
京城南大門通二丁目
斧井原京城支店 電話八三六番
本店 濟圓安東縣 電話三三三番

廣告
今般北部典洞（鍾路北裏）に集產場開設野菜果物雜貨海產物等の賣店開始仕候
◎追て開店御望の御方は御申込被下度候
中央集產市場事務所

●諸公債諸株券 現物賣買、迅速確實に御取扱可申候
兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村總七代理店
田中友吉商店 電話九二八 振替口座（ク）

中央大學在外員募集

遠隔の地方に在り又は業務の為め登校して授業を受くる能はず本大學講義録に依りて法律、經濟を學修する所の在外員を募集す○來十月を以て在外員學年の始期とし四十五年度新講義録を發行す在外員志願者は此際入學するを最も便とす○課程科目及擔任講師姓名、在外員の特權、月謝其他詳細なる規則書は申込あり次第送附す

法律科講義録

經濟科講義録

し○新學年の授業擔任講師は仁井田、奥田、岡野、金井、横田、中村、上杉、山田、松本博士を始め二十餘名の諸學士にして司法官辯護士高等文官等各試驗委員を網羅し例に依り學年と共に材料を一新して復た陳套なるもの〻なし○本講義は本大學法科の講義を編纂したるものにして三學年に分ち各學年共來十月より新學年の初號を發行し同じく一個年にて完結す○在外員は各學年を受修し得るが故に研究の餘力あらば一個年を以て全科を修了し得べし○本講義は本大學經濟科の講義を編纂したるものにして三學年に分ち各學年共來十月より初號を發行し一個年にて完結す○本講義録掲載科目は經濟學、經濟學史、經濟政策、財政學、統計學、簿記學、民法、商法、憲法、行政法、國際法、經濟地理、商業政策、殖民政策、貨幣論、信用並銀行論、交通政策、工業政策、商業史等にして最新經濟學の系統に據り整然たる分類の下に微を擧げ細に入て說述し實に斯學界の獨歩たり

四十四年九月
東京神田錦町 中央大學

二十世紀の新剤

▲月經をつうじ子宮病を全治す

月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病、血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす

月經不順 最良新藥

價 一日八錢半 一週分廿五錢 一週五十錢 二週分壹圓 三週分壹圓四十錢

常に月經異動ある人持藥とせば毒血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也

本舗 大阪心齋橋二丁目 丹平商會本店
支舗 東京日本橋通屋町 丹平商會支店
▲賣捌は東京市内其他各店に取次す

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番 千六十八番 振替口座京城十六番

奥様達へ

寒くなつたと御心配になる

綿類蒲團の準備は如才なく整つて居ます 人は半生寢て暮すのですから

綿は精選致し本年は僅かに騰貴しましたが益々確實な良品のみを取扱つて價格は充分低廉に綿蒲團の御評判に劣らぬ様に働きます是非共御來店の程願ひます

呉服類は

商品切手發賣 御贈答品用に御便利で御座います

地方の御注文は迅速確實に御發送致升

京城明治町一丁目 電話一六一番
唐川呉服店

直輸入元
歐米各國自轉車各種
ヴイクター會社蓄音機械
銀製品各種

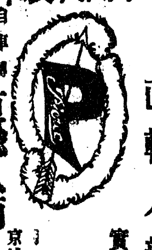
京城本町四丁目 織居本店 時計部專用電話（六二二） 寫眞部專用 仝（三九） 振替貯金口座二二三号
仝二丁目 織居自轉車部

米山 株 公 信

米穀證券現物問屋
合名會社 柴山組
京城古市町南大門停車場前
電話一二九八 増設電話一六八八番
相場高低は電話日報及店員を派遣して御知らせします

資本金五百萬圓 本店東京市日本橋區呉服町
一 土地建物抵當貸附
一 月賦償却建物建築
東京建物株式會社派出所
京城旭町二丁目 電話一六八一番

米國代表車



自轉車 銃砲火藥 直輸入商
直輸入新荷着
實用堅牢車
ピアス
京城明治町二丁目（電話三〇二番）
瀧川銃砲店自轉車部

英國セフヒールド市シーボムアンドデイキンスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑢各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處清鮮地石材穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦內地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
京城本町五丁目
和洋金物商 本藤次郎本店
（電話四五番）電信略號（ク） 振替貯金口座京城二五六番

牛乳大王軍の獨立は
斯業界の進歩革命を意味する者なり
朝鮮總督府醫院御用 平山牧場
京城大和町一丁目（電話一三三番）

眼科專門
前大韓醫院眼科部長 金井豐七
京城本町六丁目（元軍司令部通り） 金井眼科醫院 電話一五五六番

東京澤庵一手發賣元
印奈良漬製造元
京城南大門通二丁目
和洋食料品 諸罐詰瓶詰 佃煮御辛類 商 島屋
○委託品賣買
○新漬奈良漬（十匁貫詰）一樽二圓七十錢
○地方よりの御注文に應じ可申候
○御進物用として御好みにより荷造り可仕候
電話九〇三番 振替口座朝鮮五七番 電信略語（シマヤ）

營業項目
牛乳搾收業
家畜飼養繁殖
畜産物賣買
家畜飼糧販賣
種牛種付及貸牛
其他畜産業一切
京城南大門外 荒井牧場（電話一〇五六番）
江華島 荒井第二牧場
○牛乳販賣は京龍牛乳一手販賣所へ委託致候間從來通同所へ御用命希上候
○洋牛及朝鮮改良種多々繁殖致候間御買求願上候

齒科診療
京城南山町二丁目（天眞樓寫眞館隣）
齒科醫 楢崎東陽
電話千三百六十番

銀行一般の業務精々御便利に取扱申候
京城黄金町（銅峴）
株式會社十八銀行支店
電話四二〇番 五八〇番
○本店 長崎市
○日本、朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、清國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候
◎貯蓄預金
○元金百圓に付日歩一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

M.C.C.
專賣局定價は百本に付金九圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
紙巻 土耳古葉 エムシーシー
京城、平康龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

京城南山町二丁目
小倉齒修所
（伊藤組前に入る）

効能ある温泉
浴用効能 りようまちす、ちうふう、しんけいつう、ぜんそく、ひんけつ、かつけ、らいびよう、ばいどく、せいでき、しきゅう、ちのいたみ、つきやくふちゆん、ひんびよう、しようかち、せんがんがさ、皮膚病一切
外用効能 きりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あたまがさ、あせぼ、まんせいできもの、いんきん、たむし、うちみ、くじき
內用効能 ちきづ、ひせん、はのいたみ、ひんてうかたる、いびよう、たうだん、かつけ、しんけいつう、りようまちす、せきずい、ちゆうふう、げり、はらいたみ、病後衰弱、りんびよう、しようかち、しきう、血のよい
旅館 貸席 浴客
鐵冷温泉
京城長谷川町一丁目韓銀總裁官舎北横手（電話一四一二番）

今回諸事改良をなし
最も便利に取扱申候
仁川 靜養所 八景園（電話五五二番）

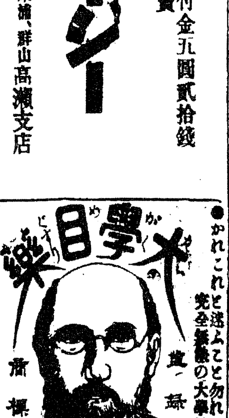
▲營業案內▼
定期賣買は秘密を嚴守し大阪、東京兩市場何れとも便宜御注文に應ず可く
現物賣買は弊店が多年の經驗と特有の技能とを以て如何なる銘柄と雖も極めて丁寧懇切に御取扱ひ可申候間何卒數量の多少に不拘御用命の程奉希上候（香野商報御申越次第進呈可仕候）
各種有價證券問屋
三晉野峻輔商店
京城南山町三丁目 電話一四〇九番

緩和下劑
カスカラ糖衣錠
東京三共合資會社朝鮮總代理店
仁川本町 竹田津三平

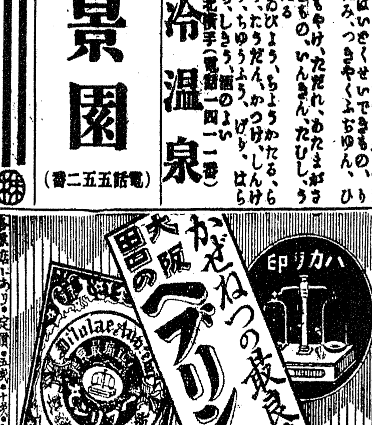
文房具 和洋紙 測量器械
日本政府檢定濟 度量衡器特許輸入販賣所
シノサキ本店
京城本町一丁目（郵便局前） 電話七百五番 電話長六四八番 振替口座朝鮮一五四番

●新荷着
酒精アルコール
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）
坂倉支店

●かれこれと迷ふこと勿れ 完全無缺の大學目藥あり



大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●星目●のぼせ目●かすみ目●血目●爛目其他眼病一切に可驚奇効あり
發行所 大阪市北濱二丁目 ヘブリン丸元 參天堂藥房



各藥店にあり
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 一〇六八 振替口座京城十六番

●うちみ●くじき はねつぎ●
○家傳○かつけ○胃腸病○專門灸治
京城明治町一丁目百十
荒川摩擦術療院 電話は（一五八七番へ）

弦齋流割烹
す津祢
南山町一丁目 電話千五百二番

芙江公州間 定期出帆
芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時半
御客樣の御便利用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

十月中 瀛船出帆廣告
安東丸 屯串行 十月四日前一時
天草丸 海州行 十月四日前一時
武歡丸 甕島行 十月七日前八時
海利丸 海州行 十月六日前二時
武歡丸 大湖芝行 十月五日前八時
仁川本町四丁目 電話一七三番七五〇
合資會社 秋田商會船舶部